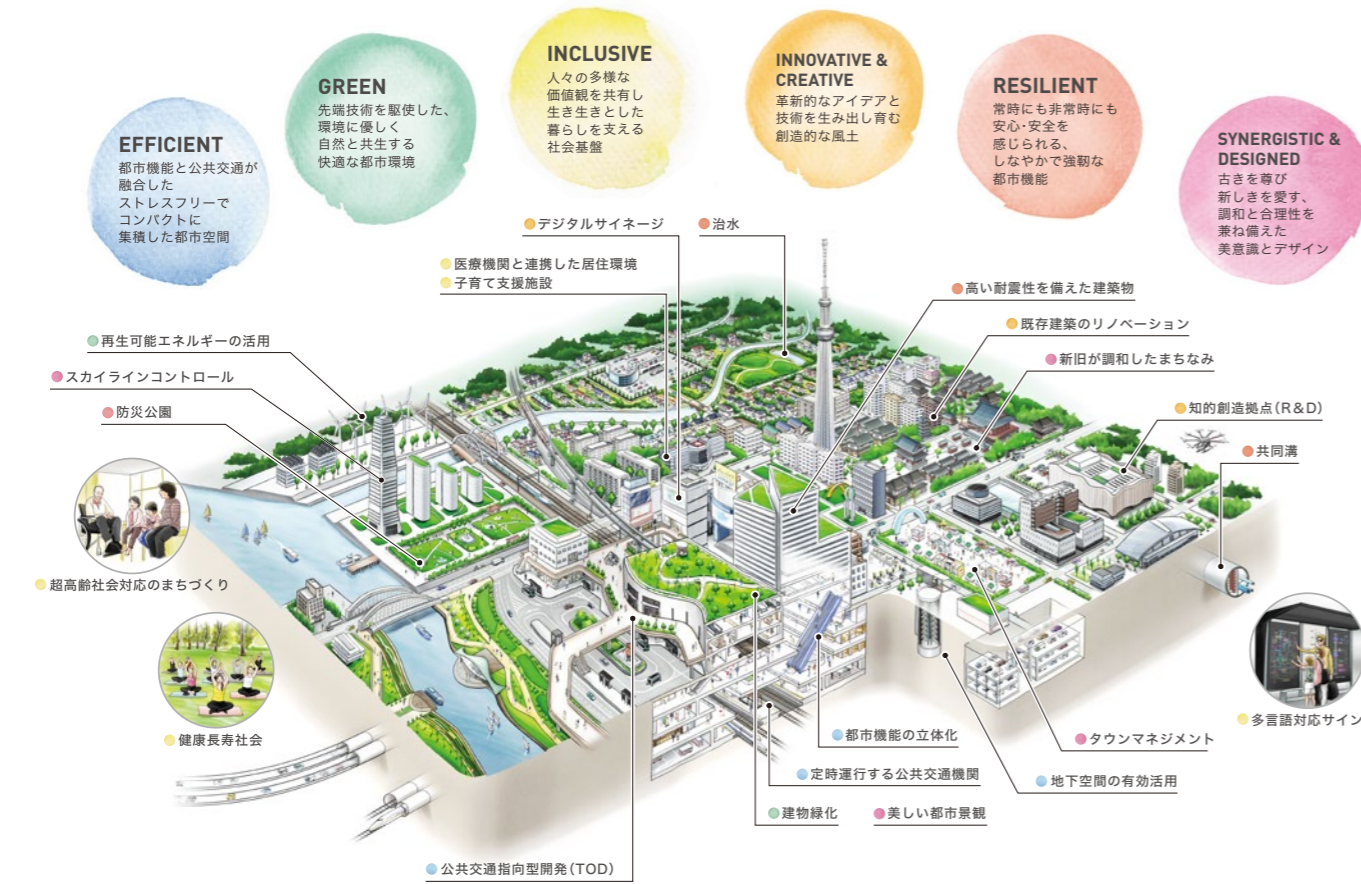
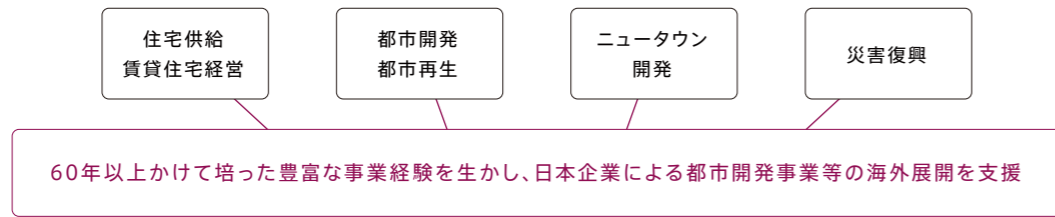


日本の優れたまちづくりを海外へ

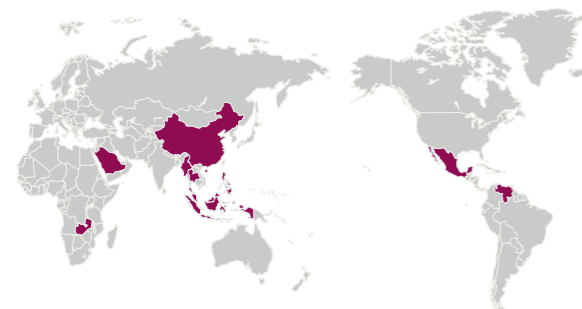
長い歴史や固有の文化によって醸成されてきた日本の都市。限られた国土を最大限活用し、災害や少子高齢化などの課題や時代の要請への対応を通じて、質の高い暮らしを実現してきました。日本が蓄積してきた都市開発に関する知識と技術を取り入れることで、都市機能と公共交通の融合、高い安全性能、新旧が調和したまちなみ等、日本の都市開発は数多くの強みを持っています。



海外からも必要とされるUR

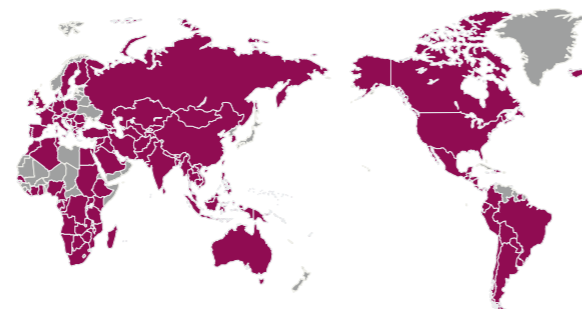


■ JICA (独立行政法人国際協力機構) を通じた専門家派遣



1979年以降
31 国 302 名派遣
(2020年3月末現在)

■ 海外からの研修・視察の受け入れ



1998年以降受け入れ実績
127 国・地域 13,776 名受入
(2020年3月末現在)

大規模都市開発プロジェクトの支援



ニューサウスウェールズ州との覚書の交換



西シドニー空港と周辺都市開発の範囲

豪州・西シドニー新空港周辺地区 (エアロトロポリス)

URは、オーストラリア連邦ニューサウスウェールズ (NSW) 州政府傘下のウェスタンシティ・エアロトロポリス公社 (WCAA・当時) と、NSW州シドニー西部にある新空港周辺地区 (エアロトロポリス) のまちづくり計画策定支援に関し、アドバイザー業務の実施に関する契約を締結、エアロトロポリスのまちづくり実現に向け、都市開発の総合調整機能を担うWCAAに対し、計画策定などに関するアドバイスをを行っています。
※WCAAは、2020年にウェスタン・パークランド・シティ公社 (WPCA) に組織改編しています。



バンコク鉄道網計画図

タイ王国バンサー中央駅周辺地区

バンコク中心地から北約10kmに位置するバンサー中央駅は、タイ国鉄レッドラインや空港高速鉄道、バンコクとタイ北部を結ぶ高速鉄道が乗り入れる予定で整備が進められており、駅周辺はスマートシティ開発をめざしています。URは、品川やうめきた等の経験やノウハウを生かし、バンサー中央駅周辺の都市開発の実現に向け、タイ政府及び関係機関に対し、事業推進に関するアドバイスをを行っています。



建設中のバンサー中央駅